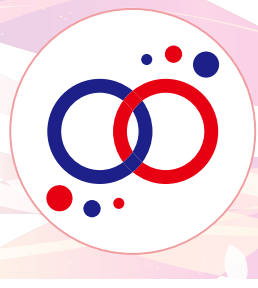


倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
 〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
 TEL 086-444-3212
 老人保健施設 **老健あかね**
 TEL 086-446-6541



コープリハビリテーション病院・老健あかねだよ!

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

これからの看護師にも求められるもの 創志学園高等学校看護科臨地実習

今回で3回目となる創志学園高等学校看護科の基礎看護臨地実習を10月22日に実施しました。病棟の機能や構造・病棟で働いている職種とその役割・多職種との連携を学ぶことが目的で看護科1年生が対象です。

午前中は鍛本院長と私の講義を中心に、午後からは各階を回り、病棟の役割と機能を学びました。鍛本院長の講義はとても考えさせられる内容で、「これからの看護師に求められるもの」というような内容でした。高齢者が増えることで、「治す医療」から「抱

えて生き支える医療」となること、それにより疾患の知識や技術だけでなく、患者さんの困りごとを感じとれる能力、そしてその解決策を提案できる人材が求められるというような内容でした。学生からは「そのような看護師になるためにはどのようなことを意識して働いたらよいか」など、学生からも感心するような質問・感想が沢山聞かれました。そして私自身も、病棟だけでなく生活の質を重視した総合的な支援が求められる回復期でまさに必要なことだと再認識しました。

(コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護副主任 水島智重)



講義後の質問に答える筆者(左奥)

短期集中健幸アップ教室

組合学術運動交流集会以報告

みなさんこんにちは。コープリハビリテーション病院の岡野泰樹です。

今回は10月23日に行われた

組合の学術運動交流集會に参加したので報告します。私は毎週土曜日に当院で実施している、短期集中健幸アップ教室の紹介をさせていただ

きました。

今までも広報誌や各地

域の班会、支部集會、高齢者支援センターなどで紹介させていただいて

ましたが、まだまだ認知

度が低く、今回多数の組

合員さんに紹介できたの

です。

また、今回の発表で支部班

の取り組みを紹介されて

いたのが3組もあり、各班で

様々な取り組みをされている

事を知れ、とても有意義な集會になったと思います。今後も健幸アップ教室の紹介は継続していきますが、管理栄養士、看護師、歯科衛生士などの話も聞けてとても勉強になる教室だと思えます。

少しでも興味を持たれて方はコープリハビリテーション病院まで問い合わせしてみてください。

(短時間通所リハビリテーション 理学療法士 岡野泰樹)

倉敷市一斉地震対応訓練+1と避難確保計画に基づく垂直移動訓練

9月26日、倉敷市一斉地震対応訓練+1(プラスワン)訓練を実施しました。

9:00ラジオから流れる伊東市長の訓練開始を知らせる声に緊張が高まりました。地震が起きたら「まず低く、頭を守り、動かない」を実行して見ました。雑誌や鞆などで、頭部を守るよう患者様や利用者様に職員が呼びかけを行いました。薬局や事務課も参加しました。



『念のため』浸水に備え外来・通所を2階へ

訓練の後は、部屋の落下物、転倒する危険がある物がないか点検しました。日常的に使用

い勝手がよく扱っている物も、発災時には命の危険をさらす道具になることを意識し、環境の見直しが必要であると痛感しました。これを機会に、全職場の環境の見直しを行っています。

また、10月16日には避難確保計画に基づく垂直移動訓練を行いました。

万が一の場合の備えとして、エレベーターが使用できない状況で利用者様を1階から2階に担架で搬送する訓練です。通常は介助者2名で運びますが、とても難しく6名の職員でなんとか階上まで搬送できました。

いざ、という時に何ができるか、日頃からの実動訓練を積み重ねていく重要性を感じました。

(コープリハビリテーション病院 事務次長 田辺紀子)



薬局の職場でも訓練に参加しました

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。



嚥下造影検査(左図)を用いて正常な嚥下と誤嚥との違い(右図)を参加者へ説明



院内の摂食嚥下の実践を報告する筆者

歯科治療の展開が病院から 自宅まで幅広い範囲へ

院内の摂食嚥下・口腔機能訓練の実践を紹介

9月18日に歯科衛生士が主催する研修会が、約50名の職員で開催されました。

厚生労働省は歯科治療が利用者の通う外来診療から歯科職員が病院や自宅へ出向き、様々な職種と連携した治療・管理・連携型の時代が変わる事を想定しています。

現時点では歯科職員の病院への関わりは少ないため、まずは院内の取り組みを知る機会として摂食嚥下の実践報告をしました。医科と歯科で共有の課題としてオーラルフレイルがあり、歯の減少、口腔乾燥、舌の動きや力の低下など口腔内の状態に問題が生じます。加えて、脳梗塞などの病状により食べ物が飲み込みにくい、むせるという症状が現れます。

参加者にわかりやすいように嚥下造影検査(VF)も活用し、実際に誤嚥が起きている様子も知ってもらいました。そのような問題がある方への評価や嚥下訓練など、症例を通じて義歯の必要性や改善により食事形態が変わる経過も合わせて実践内容を伝えました。歯科職員の方に少しでも摂食嚥下が理解頂けたなら幸いです。

(コープリハビリテーション病院 言語聴覚士 江田百合郁)



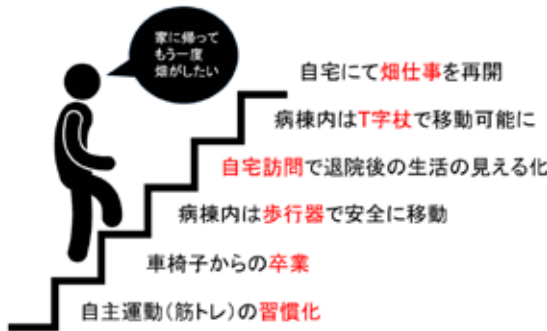
新人発表をしている筆者

成功体験の積み重ねで「生活できない」から「生活できる」に気持ちを変化

リハビリ新人発表③

脳梗塞の発症後に家で生活

ができないと自信を失っている方を担当しました。関わる中で軽度な麻痺はあるものでもまだまだ家で生活できる能力はあると分かりました。急に自宅を目指すとは何をすれば良いか分からない状況だったので、目標を小さく設定して到達しやすい内容を選びました。まずは筋トレの自主



段階的に難易度をアップして自宅で暮らせる自信をつける

運動の習慣化で体力を付け、車椅子卒業しました。職員も運動している本人を鼓舞して後押しをしました。次は病棟内を歩行器で安全に移動し、終日歩行で過ごせる事を目指しました。

それでも家ではまだ暮らせないと自信がなかった

ので、自宅訪問を行いました。実際の生活する家や以前していた畑を見ることで目標を具体的にしました。当初は「できない」「もうダメだ」などの発言が目立っていましたが、徐々に「やっぱりもう一度畑がしたい」と前向きな発言が聞かれるようになりました。退院前には、不整地の畑でスコップや芋拾いも行い、「家での生活も畑仕事もできる」と本人の自信が付きました。

この新人発表を通じて、患者さんの生活を考えるということを自分自身で振り返ることができました。今後患者さんが自宅で暮らせるような後押しのできる理学療法士になれるよう精進していきます。

(コープリハビリテーション病院 理学療法士 永見房ノ介)



自宅リハで畑仕事もできると実感

診療表

コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30 ~ 12:00 [086-444-3212]

老健あかね [086-446-6541]

診療時間	外来	装具外来	歯科	短時間通所リハビリ	短期集中健康アップ教室	訪問リハビリ	通所リハビリ
午前 9:00 ~ 12:30	14:30 ~ 15:00		午後	9:00 ~ 16:50	9:30 ~ 11:00		9:00 ~ 16:00
月	12/2-16 中角 (整形外科)			○		○	○
火	渡辺 (予約制)	○	滝本 (予約制)	○		○	○
水	飯塚			○		○	○
木	太田		滝本 (予約制)	○		○	○
金	香口			○		○	○
土					○		○

医療福祉相談・連携室

相談受付時間	平日	9:00~12:00	13:30~16:30
土曜日	9:00~12:00		
日・祝日	休み		



お問い合わせ先 倉敷医療生活協同組合 コープリハビリテーション病院 老人保健施設 老健あかね TEL 086-444-3212(代表) 受付時間 平日 9:00 ~ 16:30 土曜日 9:00 ~ 12:00 (日祝・年末年始を除く)

〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60 ホームページ: http://coopreha.jp/ メールアドレス: info@coopreha.jp 広報委員会 発行責任者 笹館 勝人



コープリハビリテーション病院 栄養科 調理員 濱田 ひとみ



老健あかね 介護士 梶田 和美

新入職員紹介